

内部取引消去について(社会福祉及び公益法人会計)

シンシステムデザイン <http://www.ssdesign.co.jp>

1. 内部取引を行うための準備

初期設定メニュー ⇒ 会計期首 の画面を開きます。

内部取引の方法は、次の3つの方法を用意しています。

内部取引消去

- ① 仕訳時にチェックのみで相手部門を特定しない
- ② 仕訳時に相手部門を特定(画面の解像度1280以上)
- ③ ○○区分間のみを自動で内部取引消去する【推奨】

| | |
|-----|--|
| 方法① | 仕訳時にチェックのみで相手部門を特定しない。 ただし、社会福祉法人会計など部門の階層区分がある場合は、階層区分が出来ないのでこの方法は使用しないでください。 |
| 方法② | 仕訳時に相手部門を特定する。(画面の横解像度は1280以上) 収益(収入)と費用(支出)の内部取引消去が必要な場合はこの方法を選んでください。 |
| 方法③ | 今回新しく追加した機能です。 社会福祉法人会計D2では 事業区分間、拠点区分間、サービス区分間と云う言葉を含む科目で仕訳すると、自動的に内部取引消去が出来ます。 公益法人会計では “他会計への繰出・繰入”の仕訳のみが自動的に内部取引消去が出来ます。 |

補足

公益法人会計では“他会計振替”という科目を収入にも支出にも使いますので内部取引消去は必要ありませんが、次のように小科目を付けた場合でも方法③では自動消去されます。

他会計振替

他会計振替(収入)

他会計振替(支出)

2. 仕訳の方法

方法①

相手部門を特定しないで内部取引消去を行う方法です。

左端にあるチェックボタンにチェックをつけると内部取引消去対象の伝票となります。

次のような単階層であれば使えますが、現在の会計基準では階層部門の計が必要ですのでこの方法は使用しないでください。

部門 A

| 借方科目コード 補助科目コード | 借方金額 消費税区分 | 貸方科目コード 補助科目コード | 貸方金額 消費税区分 | 指 摘 |
|--|---------------|--------------------|---------------|--------|
| <input checked="" type="checkbox"/> 111040 預金1 | 500,000 | 53510 ○○収益 | 500,000 | |

部門 B

| 借方科目コード 補助科目コード | 借方金額 消費税区分 | 貸方科目コード 補助科目コード | 貸方金額 消費税区分 | 指 摘 |
|--|---------------|--------------------|---------------|--------|
| <input checked="" type="checkbox"/> 158020 事業費/給食費 | 500,000 | 11020 現金 | 500,000 | |

下記は使える例です。

合計

本部会計

一般会計

特別会計

方法②

入力画面の右に内部取引をする相手部門を特定して入れます。

| 摘要名1 摘要名2 | 部門 内部取引の相手部門 |
|---------------------|--------------------|
| 製造したパンをひまわり保育所に販売する | 14パン製造 4ひまわり保育所 |
| 給食用にパンをパン製造から購入する | 4ひまわり保育所 14パン製造 |

上記の仕訳は、「全体の連番」での画面例です。

「全体の連番」にすると、一枚の仕訳伝票に複数の部門の仕訳が入力できますので、相手部門の確認がやりやすくなります。

方法③

下記の例のように“〇〇区分間”の文字を含む仕訳を行うと、内部取引の仕訳になります。

A 拠点

| 借方科目コード 補助科目コード | 借方金額 消費税区分 | 貸方科目コード 補助科目コード | 貸方金額 消費税区分 | 摘要名1 摘要名2 |
|--------------------|---------------|--------------------|---------------|--------------|
| 111020 現金 | 5,000,000 | 62560 拠点区分間繰入金収益 | 5,000,000 | 他の拠点から資金移動 |

B 拠点

| 借方科目コード 補助科目コード | 借方金額 消費税区分 | 貸方科目コード 補助科目コード | 貸方金額 消費税区分 | 摘要名1 摘要名2 |
|--------------------|---------------|--------------------|---------------|--------------|
| 163620 拠点区分間繰入金費用 | 5,000,000 | 11040 預金1 | 5,000,000 | 他の拠点に資金移動 |

➤ 〇〇区分間の文字を含まない仕訳は内部取引は出来ません。

3. 内部取引の仕訳例

下記の仕訳は何れも内部取引の仕訳を行ったものです。

赤色の科目が内部取引消去されます。

下記仕訳例はすべてA部門とB部門間の内部取引とします。

資金移動に伴う内部取引消去

例1) 部門間で借入や貸付をする場合

| 部門 | 借方科目名 | | 貸方科目名 | |
|------|----------|------|----------|------|
| A 部門 | 預金 1 | 1000 | 〇〇区分間借入金 | 1000 |
| B 部門 | 〇〇区分間貸付金 | 1000 | 預金 2 | 1000 |

例2) 部門間で資金を移動する場合

| 部門 | 借方科目名 | | 貸方科目名 | |
|------|------------|------|------------|------|
| A 部門 | 預金 1 | 1000 | 〇〇区分間繰入金収益 | 1000 |
| B 部門 | 〇〇区分間繰入金費用 | 1000 | 預金 2 | 1000 |

他部門で支払いを行う場合の例

例 1) A部門の人件費をB部門で支払う場合

| 部門 | 借方科目名 | | 貸方科目名 | |
|------|------------|------|------------|------|
| A 部門 | 人件費 | 1000 | 〇〇区分間繰入金収益 | 1000 |
| B 部門 | 〇〇区分間繰入金費用 | 1000 | 預金 1 | 1000 |

例 2) A 部門の人件費を B 部門で支払いますが、部門間の借入や貸付での処理になります。

| 部門 | 借方科目名 | | 貸方科目名 | |
|------|----------|------|----------|------|
| A 部門 | 人件費 | 1000 | 〇〇区分間借入金 | 1000 |
| B 部門 | 〇〇区分間貸付金 | 1000 | 預金 1 | 1000 |

A部門で生産したものをB部門で消費する場合

例 1) 売上や経費を消去しないで行う方法

| 部門 | 借方科目名 | | 貸方科目名 | |
|------|------------|------|------------|------|
| A 部門 | 〇〇区分間繰入金費用 | 1000 | 〇〇収益 | 1000 |
| B 部門 | 〇〇費用 | 1000 | 〇〇区分間繰入金収益 | 1000 |

例 2) 売上や経費を内部取引消去したい場合

| 部門 | 借方科目名 | | 貸方科目名 | |
|------|-------|------|-------|------|
| A 部門 | 現金 | 1000 | 〇〇収益 | 1000 |
| B 部門 | 〇〇費用 | 1000 | 現金 | 1000 |

方法②で行ってください。

A部門の”〇〇収益”やB部門の”〇〇費用”は内部取引消去消去されます。

方法③では、収益や費用は内部取引消去できません。